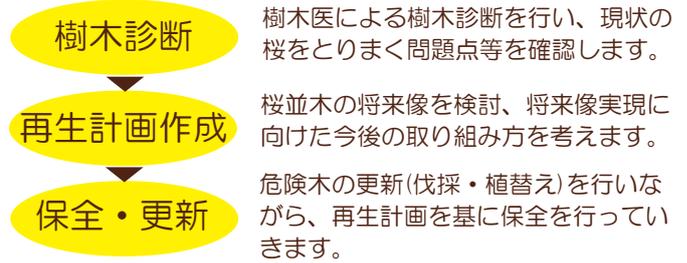


呑川柿の木坂支流緑道及び呑川駒沢支流緑道 サクラ再生実行計画 第1回検討会ニュースレター

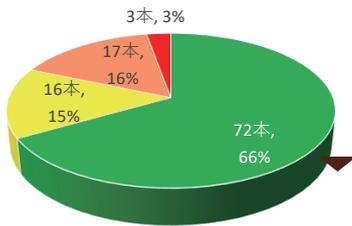
目黒区内の公園・緑道・道路緑地等には約2,300本の桜がありますが、老齢化などにより、保全・更新の取組みが必要となっていることから、目黒区では平成27年度から目黒のサクラ保全事業を行っています。今年度は、呑川柿の坂支流緑道及び呑川駒沢支流緑道のサクラの再生実行計画を策定するため、令和元年8月29日（木）に八雲住区センターで第一回検討会を開催しました。

目黒のサクラ保全事業の流れ



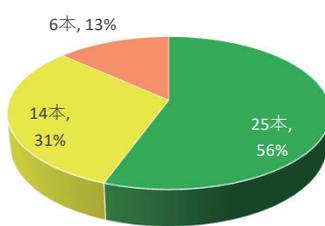
呑川柿の木坂支流緑道及び呑川駒沢支流緑道の現状

呑川柿の坂支流緑道(108本)



- 健全か健全にちかい
- 注意すべき被害が見られる
- 著しい被害が見られる
- 不健康

呑川駒沢支流緑道(45本)



樹勢が弱ったサクラ



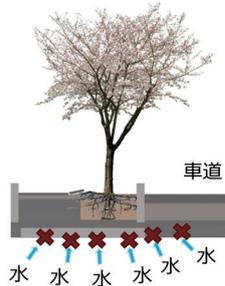
樹木を腐らせるキノコの発生

植栽後40年超経ちながらも、ソメイヨシノを始めとして全般的に樹勢は良いと考えられます。

しかし、土壌が狭く浅く固いため根を伸ばすことが出来ず、樹勢が不良となったり幹や大枝が腐朽している樹木もあり、今後その傾向はさらに強くなっていくと考えられます。

桜の課題

- 植栽基盤の不足
(土壌が少なく乾燥しやすい)
- 桜の老齢化
- 腐朽菌による材の腐朽
- 空洞の発生
- 危険木の植え替えが必要



呑川柿の木坂支流緑道及び呑川駒沢支流緑道は、呑川にコンクリートの蓋をし、その上に盛土をして造られた人工の地盤の上にあります。

このため、土が固まり易く、乾燥しやすい土壌となっており、根の生育範囲は非常に狭い状況となっています。

今後の方向性

- 保全対策の検討
土壌改良、施肥、剪定、水やり等の方法や根上がり対策を検討
- 更新方法の検討
危険木の伐採
- 小型の品種や多様な品種での植え替えの検討
- 樹木の配置方法の検討

第一回検討会の主な意見

- 緑道全体の検討を行ってほしい。
- ソメイヨシノだけでなく多品種を植えてはどうか。
- 鳥の移動経路として実の成る木を植えてはどうか。
- 井戸水使うような設備をしてはどうか。
- 枯れる前に早めに植え替えるべき。災害時に倒れないようにする。
- 支流緑道は狭いので密度が高すぎる。50年後を見ずえた計画が必要。
- 景観だけでなく安全・安心を考えて欲しい。高齢者は根あがりに踏く。
- 避難路である緑道の防火目的にタブノキを植栽してはどうか。
- 嵐のあと枝が落ちて掃除が大変。特に高齢者には大変。
- 緑が茂って暗く怖い。
- 害虫が発生して大変。

○目黒のサクラ基金にご協力をお願いします。

サクラ基金はふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧ください。みどりと公園課までお問い合わせください。

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>

